

第1学年 生活科学習指導案

指導者 1年1組

1 単元名 たのしい あき いっぱい

2 単元の目標

秋の自然や友達と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫して作ったり、身近な自然の違いや特徴を見付けたりすることができ、自然の様子や四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとすることができるようにする。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元における評価規準	秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることの面白さ、自然の不思議さに気付いている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫してついたりしている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとしている。
小単元における評価規準	1 身近な自然の様子に親しみ、季節の移り変わりに気付いている。	身近な自然で楽しんだことを生かして、おすすめの遊びを考えている。	身近な自然の様子や季節の特徴に応じながら、それらと関わろうとしている。
	2 遊びの楽しさや遊びを工夫したり、遊びを創り出したりする面白さに気付いている。	比べたり、試したり、見直したりしながら、遊びを工夫している。	みんなで楽しく遊びたいという願いをもち、粘り強く遊びを創り出そうとしている。
	3 約束やルールは大切なことや、それを守って遊ぶと楽しいことに気付いている。	遊びの約束や遊び方を工夫しながら、遊んでいる。	みんなで遊ぶと生活が楽しくなることを実感し、生活を豊かにしていこうとしている。

4 単元について

本単元は、学習指導要領の内容（５）「季節の変化と生活」（６）「自然や物を使った遊び」を受けて実施をする。

児童は、これまでに校内や校区のウチノ海総合公園などに出かけ、季節の草花や虫など身の周りの自然に親しんだり、自分たちの育てた「あさがお」の花を使った遊びを楽しんだりしてきた。しかし、自然物への興味・感心はあるものの、それを生かして遊びを深め、互いに遊び合う活動に発展させるまでには至っていない。

そこで、本単元では校庭や校外学習で秋を見付け、秋の自然を体全体で感じながら繰り返し自然と触れ合うことで、自然を使った遊びの面白さや自然の不思議さに気付き、安全に気を付けてみんなで遊びを楽しんだり、季節によって自分たちの遊びや生活の様子が変わること気付いたりすることをねらいとして活動を進めたい。また、友達と一緒に遊びを作ったり「おもちゃランド」で、友達や認定こども園などの幼児と一緒に遊び合ったりする活動を通して、友達とのよりよい関わりがもてるようになり、遊びや生活がより豊かなものになっていくことにも期待したい。

指導にあたっては、まず、校内や校区の身近な自然の様子を観察したり、自然物を利用して遊んだりしながら夏と秋の自然の違いを感じ、夏から秋へと変化していることに気付かせる。自然に浸って遊ぶ児童たちから生まれる新たな気付きに共感したり、価値付けしたりすることで、秋の自然に関わりたいという思いを大切に、自然を生かした遊びに使う物や遊びを創る活動へと発展させたい。

5 指導と評価の計画

小単元	学習活動	評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭や学校周辺で秋を見付けたり見付けた物で遊んだりする。 ・見付けた秋を伝え合うと共に、それを生かした遊びを考える。 	知① 思① 態①	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・発言 ワークシート ・行動
2	<ul style="list-style-type: none"> ・見付けた秋の物を使った遊びを、工夫して作る。 ・違うグループの遊びを体験し、良かったところや工夫できるところを伝え合う。 ・友達の意見を参考にして、さらにおもちゃの工夫をする。 	知② 思② 態②	<ul style="list-style-type: none"> ・行動 発言 ・行動 発言 作品 ワークシート ・行動 発言 ワークシート
3	<ul style="list-style-type: none"> ・「おもちゃランド」を開いて、他のクラスの友達と仲良く遊ぶ。 ・これまでの活動を振り返り、言葉や絵で表現したり、伝え合ったりする。 	知③ 思③ 態③	<ul style="list-style-type: none"> ・行動 発言 ワークシート ・行動 発言 ワークシート ・行動 発言 ワークシート

6 単元の構想について (21 時間)

小単元

1

校庭や学校周辺で秋を見つけよう。(6時間)

風がすずしくて
きもちがいいね。

葉っぱの色が赤や
黄色になったよ。

落ち葉のにおい
だ。

すすきがふあふ
あだよ。

本時

秋のおすすめ(あそび)をかんがえよう。(1時間)

どんぐりがたくさん
おちていたね。

くつつく実がおちていたよ。

秋のものを使っておもちゃを
作りたい。

小単元

2

秋のおもちゃを作ろう。(6時間)

こまをつくろう。

迷路をつくろう。

けん玉をつくろう。

まとあてをつくろう。

やじろべえをつくろう。

クラスの友だちと遊ぼう。(4時間)

遊びのルールをかんがえよう。

おもしろいあそびにしよう。

工夫をしよう。

小単元

3

学年の友だちと「おもちゃランド」で遊ぼう。(4時間)

楽しいね。

ルールがあると仲良く遊べるね。

工夫ができているね。

7 本時の学習

(1) 目標

身近な自然で楽しんだことを生かして、「秋のおすすめ（遊び）」を考える。

(2) 展開

学 習 活 動	○指導 ◎指導上の留意点	評 価
1 本時のめあてと学習の流れを確認する。	○校庭や公園の中で見付けた「秋のおすすめ（遊び）」をみんなに伝えようと意欲をもたせることで、本時のめあてを確かめることができるようにする。 ◎これまでの活動を想起しやすいように、活動場面などの写真を提示する。	
秋の自然の中で見付けた「秋のおすすめ（遊び）」を考えよう。		
2 「秋のおすすめ（遊び）」について考える。	○友だちに伝えたい「秋のおすすめ（遊び）」を考えさせる。 ◎おすすめの例や視点などについて示し、考えやすくなるようにする。	
3 「秋のおすすめ（遊び）」を発表する。	○意欲的に発表できるように、発表の仕方を確認する。	
4 本時の活動について振り返る。	○友だちの「秋のおすすめ（遊び）」の発表を聞いて感じたことを発表する。 ◎友だちの発表を掲示し可視化することで、やってみたいという気持ちをもてるようにする。	・身近な自然を生かした遊びを考えている。

(3) 評価及び指導の手立て

「十分満足できる」と判断できる状況	身近な自然物の特徴や違いを生かして、豊かな発想で自分なりの遊びを考えている。
「おおむね満足できる」状況にするための手立て	友だちの考えに触れさせたり本を見せたりして、選択肢を与える。

あきの おすすめ (あそび)

なまえ

かんせいず

おすすめ (あそび) のせつめい ※〇〇をつかって、△△をつくります。
